



■進路内定状況 <就職>

今年度の求人状況は、これまでのコロナ禍の影響が少しずつ変化し、企業の状況も上向きになってきたために、コロナ禍以前の求人状況に近づきつつありました。特に製造業や電気を含む建設業において、経営状況が好転し、人手不足が顕著になってきたため、求人数も増える傾向にありました。

そのため、昨年よりも求人倍率が高まり、県内企業については一人当たり4社～5社の求人をいただいております。県外を含めると、一人当たり7社～8社の求人をいただいていることとなります。ほぼ3年ぶりの求人状況のため、生徒の選択肢はかなり増えました。

今年度の就職希望者数は163名でした。7月求人票解禁以降、より一層、選考試験の学習に積極的に取り組み、また学科教員や外部（企業）の方々のサポートを得て、面接練習に懸命に取り組んだ結果、12月21日現在、縁故（2名）や公務員（7名）を含め、就職希望者は今年度も全員100%内定をいただいております。本人の努力はもちろん、保護者のご理解ご協力があったからこそその結果であると感謝申し上げます。

ただ全員内定決定とは言うものの、実際は、1回目に内定をいただくことができずに、2回目、3回目とチャレンジを継続していた生徒がいることは事実であり、企業サイドもこれまで以上に厳しい目で内定判断を下していることは、次年度以降に向けて、お伝えしておかなければなりません。

現在、県内企業の最大の懸案事項は「人手不足」と言われていますが、物価上昇や景気の失速など、この先は不透明感に満ち、それらが企業の経営状況に反映されます。そのため再び上昇に転じた求人倍率も来年度はどうなるのか、まだまだ不安材料が多いと感じます。

来年度受験する今の2年生はもちろん、現在内定をいただいた3年生についても、今後の社会情勢の変化を注視し、油断することなく、緊張感をもって卒業式や入社までの生活を過ごしていただくよう、心から願っております。

■進路内定状況 <進学>

今年度上級学校への進学を果たした生徒は60名を超え、昨年度と比較して約5割増えています。進学者の増加傾向は他校でも同様のようです。

大学の進学は進学者全体の半数を超えています。進学先としては、金沢工業大学を中心とした県内外の工業系大学への志向が強く3分の2を占めています。残りの3分の1は県内の文系分野（経済系など）と県内外のスポーツ推薦によるものです。

短大の進学者は多くないものの栄養士など資格取得など目的意識を持っての進学をしています。

専門学校は進学者の4割強を占めています。分野は多岐にわたりますが、情報・映像、理美容、調理、自動車などが多くなっています。特に情報系、理美容系の人気が高い傾向にあります。

今年の進学方法の傾向として、指定校制度を利用し、進学したいという生徒が多くなってきているということです。特に大学でその傾向が顕著になっています。指定校制度を利用するには、一定以上の成績、欠席日数、学校での態度など多くの条件があります。その条件をクリアしても上級学校の指定校の人数制限により指定校制度を利用できず、進学方法を変更したり、進学先を変更したりということがありました。そのためにも普段の学校生活を大切にして過ごしてほしいと思います。



キャリア通信 vol.10

令和4年度12月
進路指導課

■進路内定データ

1 求人件数

(件)

年度	R4	R3	R2	R1
県内	554	463	429	579
県外	関東	277	258	288
	関西	57	63	73
	中部	64	65	66
合計	952	849	836	1006

2 就職内定状況

(名)

就職 163名	内定		未内定		
	男	女	男	女	
学校紹介	県内	121	24		
	外	9			
縁故	県内				
	外	1	1		
公務	県内	7			
	外				
自営	県内				
	外				
合計	138	25	0	0	

3 進学決定状況

(名)

進学 64名	決定		未決定	
	男	女	男	女
大学	県内	25		
	外	8		
短期大学	県内		2	
	外		1	
専門学校 その他	県内	22	3	1
	外	1	1	
合計	56	7	1	0